

令和7年度外部評価
「サービス評価総括表」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

令和7年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の2階がグループホーム、4階が高齢者向け賃貸住宅、1階には内科・循環器内科専門の病院（別法人）が併設。同一敷地内には、NPO法人SORA精神障がい者の就労支援事業所と新たに地域の学童の放課後の居場所作りを目的としたくりた子どもひみつきちを開業している。要介護者を対象とした登録定員を18人、通い定員を12名、宿泊を6人。久万ノ台の小規模多機能居宅介護事業所を本体としてサテライト運営を行っている。住み慣れた地域での在宅生活の継続を、ご利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスの提供に努めています。今年度はケアの本質の見直しをするべく、法人で令和7年度はユマニチュード育成研修を1回行い、特にコミュニケーションの見直しと実践につなげています。温もりのある人間関係を大切に介護計画と実践が出来るように職員一丸となって取組を進めています。職員の質の向上のため、毎朝3分間研修を行って10年目になります。
事業所名	(本体) 小規模多機能ホームやわらぎ (サテライト) 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者（本体） 施設長（サテライト）	越智美代子 田村富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	1人	1人	1人	3人		11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>◎利用者との関りや活動の様子や状態変化など、端末の音声入力も活用しながら記録漏れを減らし、個々のご利用者の機能の維持や支援方法などに繋げる。</p> <p>◎ケアの始まりは「目と目を合わせ、そっと肩に手をおき、話しかける。」を継続できるように、毎月のスタッフ会で振り返りを行う。</p>	<p>・音声入力の機能活用出来ていない。(今後、状況により活用したい・練習していきたい)</p> <p>・音声入力が出来て入力しやすかった。(安全確認をしながら入力する)</p> <p>・夜勤では、時間を見つけ手入力でしている。</p> <p>・音声入力の活用は、思った以上にスムーズで今後も活用したい。</p> <p>・記録漏れを防ぎ、利用者の方の活動の様子・関り・状態の変化を記録に残すことを大切にしていきたい。</p> <p>・ケア開始時、目線を合わせ・体に触れて声かけをしている。(夜勤帯での対応時は、夜間ということもあり、必ず心がけている)</p>	<p>・3分間研修の継続、喫茶行事の手作りおやつをする事が出来ており、ご利用者の方の楽しさが持てるよう努めておられることが分かりました。</p> <p>・適切である。</p> <p>・皆さんの人柄の良さが出ていて一人二役、三役ぐらい動かれています。</p> <p>・他をあまり知らないけどゆったりしていると思う。</p> <p>・全員で取り組みできている点、できていない点を各自把握できている。</p> <p>・職員の利用者に対する気の使い方が下がります。</p> <p>・「できている点」「できていない点」で、評価が大きく違っている事がありますが、個人の問題なのではないでしょうか。</p> <p>・全員で自己評価に取り組んでおり、取り組みは良好です。で</p>	◎記録の漏れを防ぐ為、端末の音声入力を積極的に活用する。

			きている点、今後の課題を丁寧に分析し、具体的な改善計画が立てられています。	
B. 事業所のしつらえ・環境	◎1階玄関と門扉に地域の方や来訪者がわかり易い表示をする。※各階数だけでなく事業名も含めて、人の視線を意識して場所を決めて表示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に地域の方が、分かりやすい表示はできていない。 ・車に乗っている方にも分かりやすい看板の位置を検討し、事業所から離れた場所にも看板があるとよい。 ・現在、表示してある案内も色褪せなどがあるので作り直しの必要がある。(各階の事業名が見えやすい工夫も必要) ※矢印で示す・大きな文字の表示・歩行時に見える位置など 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同運動会の行事にいくし村のご家族が参加して下さっており、事業所に行きやすい環境だと感じた。 ・適切である。 ・家庭的でよろしいと思う。 ・良いと思う。 ・いつ行っても整理整頓されている。 ・事業所内に入る機会が無いため、わからないと回答しました。感染状況が落ち着いている時に見学できる機会があれば良いと思います。また、前回の改善計画に取組んだ際は、実施した項目の報告や写真があるとわかりやすいです。 	◎居心地の良い空間を維持する為、整理整頓を職員全員で日々行う。 ※物品の使用後は、元の場所に戻す習慣を身につける。
C. 事業所と地域のかかわり	◎事業所の活動の様子を道路に面した掲示板と建物内のエレベーター内に定期的に掲示する。 ◎地域の方に参加してもらえる行事を増やす。年間計画に入れる。※行事の開催時期が近づくと、より準備を進	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な掲示は、出来ていない。(エレベーター内も含む) ・外のポスト上の掲示板の位置は、見えにくいと思うので字の大きさ・カラフルな色使いなどの工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練やくりたひみつきちの行事に参加し、地域の方と交流出来ていると思います。 ・地方祭などに利用者も参加している。 ・頻繁に交流されていると思う。 ・分からない。 ・地域の方との交流の幅を広げていくのは、なかなか難しいと思う。 ・もう少し地域の人達にもあまえが合っても良いのでは。 ・事業所の認知については、 	◎地域の方と触れ合う時間を職員全員が持てるように、朝の外掃除を勤務形態問わずみんなが交代で行う。

	<p>時期が近づいたら運営推進会議で再度、案内する。</p>		<p>劣刀されていると思います。 ・運営推進会議で地域の方の参加がある等、地域との連携に努めていることが伺えました。報告書に参加した行事等の記載があれば、地域とどのように連携を図っているかわかりやすいと思います。</p>	
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>◎SNSの活用で発信をする。(インスタグラム・ユーチューブ) ※担当職員を決めて行う。</p>	<p>・SNSを使つての発信はできていない。 ・現在、ユーチューブや、インスタに流れているものを見て、どう感じるかなど見る側の気持ちも考える必要がある。 ・利用者の方のプライバシーも考慮する。 ・SNS・インスタなどを見たことない職員もいる。</p>	<p>・エコマップの作成をされ、修正を行い把握し、活用されていることはすごいと思います。 ・出来ていると思う。 ・本当に親身になって取り組まれています。 ・分からない ・SNSの活用は、インスタで写真の投稿は、可能かもしれませんが。(日々の様子や作品を載せたり) ・無理せず出来ることをしたらよいと思います。 ・自己評価では地域と交流する時間が無いとありましたが、行事や防災など積極的に地域とのかかわりがみられました。今後も可能な範囲で地域に出向いた取り組みを続けてください。</p>	<p>◎地域の行事に参加する。(運動会、文化祭など)</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

◎くりた子どものひみつきちの場所の活用について年間計画で行事を行う。※地域の大人が集える活動を行う。

・くりた子どもひみつきちを利用して、親子さんにも事業所の事を知って頂く。
・喫茶のチラシなどを作ってみる。
・郵便ポスト上の掲示板に、年間行事のチラシを掲示する。

・運営推進会議開催場所をくりたひみつきちではなく、事業所で行う事でお越し頂いた方に職員の関わり方やご利用者の方の様子が分かるのではないかと。
・活かされていると思う。
・分からない。
・色々な分野での研修会を開催されていて、地域の方も色々と学ぶ機会があり良いと思います。
・くりた子どもひみつきちが、地域の方が集える場になると運営推進会議を始めるとし、様々な場面でつながっていけると思う。
・利用者、他の為、半年に一度でも訪問看護の人の話を聞くのも勉強になるのではないかと。思うのですが。
運営推進会議を「くりた子どものひみつきち」でおこない、地域との連携や研修など充実した活動の様子がみられました。今後も運営推進会議の場を利用し、関係各所との連携の連携を図ってください。

◎感染対策を講じた上で、運営推進会議の開催場所をいくし村にする。

久万ノ台は、いくし村との合同の防災訓練を目標にしていました。年度内に出来る日程はありませんか？
・分からないが、適時訓練などをされているようであ

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>◎災害が発生時、参集、避難から生活の継続のための準備や自助、共助について学ぶ機会をつくる。 ◎地域の方に発電機使用の体験をしていただく。発電機で電力供給をして器具を作動してみる。</p>	<p>・再度、発電機の使用方法をスタッフ会などの機会に周知しておく。(定期的に実施する)</p>	<p>る。 ・良いと思う。 ・地域の方に発電機を見てもらったり、作動してもらうのは、良いと思う。 ・防災・災害訓練は、とても大切。勤めて頑張って下さい。 ・実際に、災害にあった事業所に、経験を聞くことも大いに参考になると思います。 ・防災訓練や研修等が運営推進会議でも実施され、取り組みは良好です。BCP等を知る機会が少ないため、運営推進会議内で発表したり、閲覧できる場の案内もお願いします。</p>	<p>◎災害が発生時、参集、避難から生活の継続のための準備や自助、共助について学ぶ機会をつくる。 ◎地域の方に発電機使用の体験をしていただく。発電機で電力供給をして器具を作動してみる。</p>
----------------------------	--	--	--	--

令和7年度外部評価 「事業所自己評価」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	介護支援専門員1名、介護職員11名 (※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	4人		12人

前回の改善計画

◎毎朝の3分間研修を利用して、初期支援の情報共有をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

3分間研修で情報共有が出来ている職員が多い中、新しい職員は、どこを必ず見ておくのかポイントが伝えられていない。全員が周知できているか、夜勤者でも夜間業務中に周知できているか確認が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		10人	2人		12人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	9人	2人		12人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1人	8人	2人	1人	12人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	11人			12人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・訪問時身体に変化があった時、事業所に連絡を入れた。
- ・職員間の情報から細やかな支援を行っている。
- ・事前情報サマリー等も含め、毎朝の申し送り等で周知を図り、利用開始して実際に関わる中での気付きについては、意識して行うようにしている。
- ・利用者の方への丁寧な声掛けを大切に、常に寄り添う気持ちを持ち続けること。
- ・利用開始頃は、訪問、通いで不安があると思うので、声掛けを行い気になる点は、皆で共有するようにしている。ご家族さんに対しても言いやすい雰囲気作りをし、良い関係作りに努めている。
- ・本人、家族の要望通りの支援に苦慮することもあるが何とか努力している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p> ・ご本人の必要とされる支援が、的確にできていない事がある。ご本人とのコミュニケーション不足で、必要な事が行えていない。 ・関わっていない訪問や通いの支援があったり、3分間研修にあまり参加できていない。 ・情報の共有にばらつきがある。バランスのとれた情報共有をするには、一人一人の意識を高め、互いに声掛けをしていかなければならない。 ・ご本人の体調の変化で、目に見えていない部分の把握やご本人からの聞き取りが、不十分な時がある。 ・本人や家族・介護者の方の必要としている支援が、すぐには把握できず、実施出来ていないと思う。大まかな支援としては、最初の段階で分かっているが、細かいことについては、利用期間が短いと分かりにくいところがある。 ・ご家族・利用者様の情報を正確に把握できていない。ファイル等の閲覧を怠っているため。 ・利用開始直後の情報収集を所定のところに用紙を準備していても意識できていない。 ・職員に周知をするが、口答のみに終わっている場合があると書面に残らないので忘れられてしまう。ケアやその他の業務や通常の業務に追われる事、情報収集をすることの意味や意図が十分理解できるように職員の初期支援も不十分な事、意識が低いなどが考えられる。 ・資料等、仕事の流れが分かりにくい点がある。隙間時間がなく、資料など目通しが出来ていない。時間の使い方など振り返りが必要とも考える。 ・職員自身の勤務時間の関係から、業務内容に偏りがあるので、3分間研修に参加できていないことも理由として考えられる。 </p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>夜勤者出勤時に、日勤者から確実に申し送りを行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人		12人

前回の改善計画
 スタッフ会でモニタリングをする時間にライフサポートプランを伝えながら、参加できていないスタッフが目通しできるように議事録のファイルに1週間綴っておく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 スタッフ会に参加できていないスタッフが、議事録に対しての意見を書いているが、その月の議事録の内容に沿った意見が少ない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	4人	6人	1人	12人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5人	6人	1人	12人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	4人	6人	1人	12人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5人	7人		12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人が「～したい」「目標」を把握出来ている。
- ・利用者の方の発言・行動をできるだけ否定しない。
- ・議事録をファイルにとじて、いつでも目通しできる環境にあり、自分の意見などの記入はできている。
- ・自己実現(本人・家族)を理解してゴールに向けて優先すべき事、ホローが必要な支援を振り返りながら、ライフサポートプランの作成に努めている。
- ・半年に1回のサービス担当者会・入退院時のカンファレンス等も調整を行いながら進められている。
- ・気になった点があれば発言するようにしている。
- ・ご本人がこのままの生活、安心して過ごせるように支援出来ている。
- ・ご本人が出来ること、出来ないところにケアが出来ている。
- ・議事録には、必ず目通しをして、利用者さんのサポートプランの追加になったことなど把握するようにしている。
- ・実践してみた事については、どうだったかをミーティング等で発表して、皆で話し合うようにしている。
- ・生きがいを感じてもらおう支援になるように、安心やストレスを残さないような雰囲気作りに努めている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 職員が危険を伴うと判断した時、利用者の方の行動を制止する場合がある。
- 時間的なゆとりが少ないので、書類等に目通しできていないことがある。よって、日常生活のサポートはできているが、目標を把握できていないのでその都度の利用者の方の心情・表情で対応している。
- 利用者本人の「～したい」の実現は、生活支援が主なものになって、楽しみ・やりがい等を盛り込んだ具体的なものが、やや不足したり家族の意向が優先されている事も多い。心身の状況によっては、どうしても家族の介護負担の軽減や必要な福祉用具が優先される等で、ご本人の趣味や楽しみ願い等、本意が隠れていることもあるかと思う。
- ご本人の目標などを把握できていない事の要因は、書類等の閲覧を怠っているから。
- ご本人の目標とか「～したい」については、実際のところよく分からない。ご本人に認知症があったり、ご家族の方に聞く機会も作れていないから。
- ミーティングで決まった新しい対応や、変更になった対応などが、共有できないまま現場に入ってしまうことがある。そうすると、実践しないといけない対応の振り返りができない。
- 日々の業務に追われて、関わる事ができていないので、ご本人が「〇〇したい」ことを実践できていない。
- 利用者の方、一人一人のライフサポートプランにある目標や目指すゴールを正確に把握して、その月の振り返りを翌月に具体的に活かすことができていない。日常の中でプランに結びつけていく関わり方が不足している。モニタリングする際、日常の関わり方に視点をおいた振り返りができるようにしたい。
- 出来ていると思っている中で、まだ不十分な点が分かっていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

スタッフ会に参加できていない職員は、その月の議事録や、モニタリングに対しての意見を記入する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	1人	12人

前回の改善計画
 利用者の対応後、直ぐに記録をすることを習慣化 (意識し、当たり前になる。)
 ※端末の音声入力を活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 音声入力は、活用できている職員とできていない職員のバラつきがある。音声入力以外の記録忘れも直々ある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	8人	2人	12人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	10人			12人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9人	3人		12人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	10人			12人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	1人	7人	4人		12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご本人のその日の状態を理解し行動できている。
- 食事・排泄等の日常の介護は出来ている。尚、体調の変化に気がついた時は、本人の気持ちに配慮しつつ対応をして、ミーティングにおいて他の職員とも情報共有できている。
- 本人の状況に合わせた基礎的な支援の中でも、日々の変化には十分配慮して、現場では共に確認し合ったり、小さな積み重ねを大切にしている。
- 本人・家族からの新たな情報は、記録に努めている。ミーティングやスタッフ会等で伝えるのと記録に努めている。
- 心身共に変化に気付き、可能な限りスピーディーに対応をしている。
- 記録に関しては、音声入力も活用しつつ、対応後すぐに記入している。
- 身体的な変化や異常があった場合には、即時に他の職員に伝達し、対応をしていくようにしている。
- ご本人の状態などの情報共有の際、声の大きさなど配慮をしている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご本人の以前の暮らし方が、十分理解できていない為、自宅で生活していた頃の生活環境を把握できていない。
- ・音声入力の仕方が、はっきり分からなかった為、端末の音声入力できていない。
- ・対応後、すぐ記録する習慣が当たり前にはなっていない。意識は持っていても目の前の対応の方を優先してしまう為、後でまとめて記録をしてしまっている。
- ・即時に行った対応が、必要があまりない対応について確認が十分でなく、本人の能力の発揮を妨げている場合がある。職員への周知は、図れていても、その後の確認・必要性が遅れてしまうことや、周知の仕方や言葉の表現で伝わりきれしていない。そのことに気付いていないで、反省させられることがある。
- ・記録の内容の中で、利用者の方の日々の生活の様子を入力できていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

音声入力を活用する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画

◎朝の時間に事業所周辺の掃除の継続 (全職員が意識する。夜勤専従も含めて) する。

前回の改善計画に対する取組み結果

夜勤専従の職員は、体力的に難しいと感じた。概ね出来ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		9人	2人	1人	12人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3人	3人	6人		12人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6人	6人		12人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2人	9人	1人	12人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ご本人のこれまでの生活の仕方をスタッフ会やミーティング等で共有して把握できている。
- 事業所周辺の掃除は、朝の時間(送迎前などの)を活用し、地域の人にお会いした時には、あいさつをするように心がけて掃除をしている。
- 地域の民生委員さんは、利用者の暮らす地域にも連携をとるようにしている。
- 利用者を中心としたエコマップの作成(手書き)も修正を行い把握している。
- 地域の資源として協力してもらえる事は、お願いしている。
- 事業所が抱え込み過ぎないように、できることは、家族に担ってもらうように努めている。
- ご本人の性格や、人間関係が円滑にいくように、職員が間に入ってサポートできている。
- ご本人のこれまでの生活スタイル等は、申し送りやノートを読んである程度は把握している。
- ご本人の人間関係・ご家族の方との関係性については、概ね理解できているし、事業所が直接していない時間帯の過ごし方は、分かっていると思っている。
- 家族関係を理解して、言葉にされた内容を聞きながら、利用者の方の心情を理解していくことを心がけて業務した。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p> ・通いの方の、ご自宅の様子や住環境から見えてくる暮らしてきた趣味や嗜好を理解していないまま対応していた。ご本人に関する書類などに目通しできていない。 ・掃除の内容として、駐車場の草引きなど全職員で意識はできていない。職員間で声をかけあい5分でもいいので掃除をするという意識ができていない。 ・ご本人の現在の生活に必要な民生委員や地域の資源等を把握できていない。民生委員の方や地域のことに直接関わっていない・関心を深められていない為。 ・利用者の方の家族・介護者や地域との関係が切れないような支援ができていない。民生委員や地域の資源等の把握については、よく分からない事が多く、自分自身が、直接関りをもてていないことが理由だと思われる。 </p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>自宅で、サービス担当者会を開く時に、担当の職員以外の職員も参加してみる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	6人	2人	12人

前回の改善計画

◎「喫茶いくし村」の行事の時間を活用して地域の方との交流を再開、継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果

喫茶の継続はできているが、今現在、来られているグループホームやイクション以外の地域の方の交流の幅が、広がっていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	2人	7人	2人	12人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2人	8人	1人	1人	12人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3人	6人	3人		12人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2人	8人	2人		12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

・ご本人の体調などその日の状況を見て行動できている。(職員間で共有した上で支援している)なお、ミーティング等で共有し得た情報に基づいて支援している。
 ・「喫茶いくし村」の行事は、職員一人一人が、手作りおやつを作り継続できている。
 ・長期的・短期的なニーズでその都度、見直しするように努めている。
 ・即時的な対応の変更にも今のところ対応できている。
 ・事業所では、積極的に本人が参加しやすいような行事を行っており、過ごしやすい環境を整備している。
 ・支援している中での気付きは、即報告、もしくは申し送りなどへ記入して、職員間の周知につなげている。
 ・食事に関して、利用者の方の様子をみて、補食や温めなおす・形状に変化をつけるなど配慮をしてなるべく快く食べて頂ける配慮を促す。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ◦その日その日の、ご本人の心情に合わせた対応に苦慮することがある。何を思い何を考えられているか、 ◦喫茶を継続することはできていても、以前のような事業所近辺の地域の方の参加ができていない。地域の方の高齢化も理由と考えられる。 ◦地域の事が、よくわかっていない。地域の事に参加できていない。 ◦喫茶のご案内・または行事に参加して頂くなどの声かけ・パンフレット作り・配布などができていない。 ◦いくし村の喫茶を活用した地域の方との交流が、自分の勤務日などの関係上できていない。 ◦本人のニーズを理解しようとする姿勢が、十分ではない。利用者の方とのコミュニケーションや、何気ない仕草などを見逃してしまっている。 ◦職員全体のニーズに合わせた変更などが伝わりきれず、対応がまちまちになって、利用者から苦情があがる場合がある。書面での周知が、目通しできていない職員がいたり、「知らなかった」の声で改めて周知することも時々ある。全職員が、理解しているかの確認不足もある。 ◦地域の方との交流時間がない為、地域の資源を使つての支援ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>新玉地区文化祭に作品出展を実施する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

6. 連携・協働

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	5人	12人

前回の改善計画
◎参加できる地域のイベントを増やし、継続しながら、近隣の高齢者や子供たちが気軽に立ち寄れるように敷地内のくりた子どもひみつきちを利用している子供たちから行事以外に遊びに来てもらうようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
くりた子どもひみつきちの方からのお誘いの行事には、参加できている。事業所へ行事以外に遊びに来てもらうことは、できていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2人	3人	7人	12人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1人	3人	8人	12人
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1人	1人	3人	7人	12人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3人	4人	5人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ◦地域の運動会だったり秋祭りの提灯行列のお菓子配りやお神輿などの地域の行事には、参加できている。 ◦くりた子どもひみつきちのイベントには、参加できている。 ◦年度はじめの総会には、出席して地域の行事の報告や計画等の周知ができています。 ◦敷地内の就学児立ち寄り場所のくりたひみつきちに、2~3回来てもらうことや、ひみつきちの行事には、参加できて交流がもてた。 ◦地域の防災訓練に参加して防災グッズや新玉小学校の災害時の水汲み場所や使用の仕方を把握した。 ◦地方祭への参加が今年もできた。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 気軽に立ち寄れる施設には、できていない。以前は、喫茶にひみつきち利用の子供たちが来られていたが、最近感染症の関係で、なかなか実現できていない。閉鎖的な環境になっていて、気軽に立ち寄りにくい場所になっている。
- 今、交流している地域住民以外の方たちへの発信が出来ていない。
- 地域活動や、イベントに参加できていない。地域の状況を把握できていない為、職員自身の勤務体制が、夜勤専従であることも理由である。
- 会議などに出席できていないが、自分自身の知識不足・勉強不足もあり、もう少し自己向上に努めてから臨みたい。
- くりた子供ひみつきちが、どのように利用されているのかが、詳しく理解できていないので、今後知ってきたい。
- 今夏は、市民大清掃も猛暑の為、中止になり、清掃活動に参加できなかった。
- くりた子供ひみつきちの子供たちが、喫茶に継続して来てもらうことができなかった。
- サービス担当者会への医師の出席は、難しかったが、文書での照会と新しいプランをお渡しできた。サービス担当者会への主治医の参加は、診察時間と重なり難しい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

毎週木曜日、ひみつきちの子どもたちへあいさつをしに行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

7. 運営

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		5人	8人	4人	17人

前回の改善計画

◎運営推進会議への参加を地域の方にも更にお願いをすることを継続して、現場の職員も時間をつくって交代で参加するようにする。(夜勤専従の職員にも参加してもらう。行事の年間計画に入れる。)

前回の改善計画に対する取組み結果

現場の職員も交代で参加できている職員もいる。順次参加する予定も入れている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1人	4人	5人	2人	12人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	4人		12人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	5人	3人	3人	12人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	2人	5人	4人	12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 地域で散歩をしている人に、事業所のことをお知らせをして、気軽に立ち寄ってもらえるようにお伝えをしました。
- 十分とは言えないが、コロナ禍後、少しずつ継続できる事が、増えてきて運営推進会議に地域以外の専門の方に依頼をして学びの場を設けることが増えた。
- 事業所を知ってもらう為や、訪れやすいようにするには、の事も意見をいただけた。
- 気が付いたは、すぐに発言するようにしているし、又話やすい環境でもある。
- 運営推進会議への参加は、職員が交代しながら参加できている。そして、会議の場が、地域の方との交流の場にもなっている。
- 利用者の方や家族の方からの意見や苦情は、すぐ他の職員にも共有して、対応するようにしている。
- 事業所の在り方が、利用者の方にとって無理のないよう過ごしてもらえているかどうか、職員として意見を言っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の在り方について、職員として意見を言うことができていない。なかなか、そういった場面がない為。 ・自身の勤務時間の関係で運営推進会議が、ほとんど出来ていない。 ・地域の方からの意見などを反映できていない。自分自身、地域の方との会話ができていない為。 ・地域に必要とされる拠点には、なれていないように思う。地域の方との関りの範囲を広げていくには、発信していく努力が必要と思われる。 ・事業所に訪れやすいように、まだ分かりやすい表示ができていない。ご意見を頂いた時には、職員からも更に意見が出たが、日が経つにつれて、実行にうつせていないし、忘れてしまっている。近況状況の振り返り時期が遅くなってしまった。 ・地域の方へ、事業所のパンフレット配布を快みだが、なかなか知っていただくかたちには、なっていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>年間行事計画の中に、ご家族参加の行事を入れる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	3人	1人	12人

前回の改善計画	「食事をする楽しみ」と「口腔機能と誤嚥性肺炎」をテーマについて学ぶ。 ※口腔機能と介助時の留意点などを学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員が、個別に研修に参加はできている。職員全体で、口腔ケアをテーマにした学びは、できていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1人	6人	4人	1人	12人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	4人	5人	2人	12人
③	地域連絡会に参加していますか			5人	7人	12人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	6人	3人	2人	12人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ◦食事をする楽しみになるように、安心・安全に食べられるように、まず座る姿勢に注意をして介助した。また、安全に食べて頂く配慮として、食べやすい形状、大きさなどの調整をした。 ◦食事の楽しみを感じていただけるよう、手作りの料理で利用者の方にも手伝って頂いたり、地域にある飲食店に行ったり、いつもと違うかたちで食事の楽しみを感じていただいた。 ◦食事の盛りつけや器などにも配慮し、目で見て食欲に繋がるように心がけた。 ◦食事前の口腔体操の実施ができている。尚、食後の口腔ケアも心がけている。 ◦外部の研修も、2ヶ月に1回ぐらいのペースで参加できている。 ◦内部研修は、外部研修を受けての資料で毎朝3分間研修を実施できている。 ◦研修やリスクマネジメントは、できていると思う。申し送りでも、よく活用できている。 ◦研修内容の理解と実践ができている。◦自分自身が、興味がある研修などを選んで、参加している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>◦地域連絡会には、参加できていない。そして、リスクマネジメントの取組みもできていない気がする。自分自身が、地域連絡会・リスクマネジメントについて理解できていない。地域連絡会への参加が、できていない。</p> <p>◦スキルアップの為の学習は、なかなか出来ていない。今後、学ぶチャンスがあれば、是非学びたいと思っている。</p> <p>◦介護現場に携わる期間が短い為、もう少し現場のことを理解してからの方が、よいと思っている。</p> <p>◦リスクマネジメントに意識ができていない。ケアにおける予測として、これから先に何がおきるのか、対策を考えていくようにしたい。</p> <p>◦研修に参加できていない。自分自身の空いている時間の活用の見直しが必要である。尚、研修予定表の目通しも出来ていない。</p> <p>◦口腔ケアの大切さを意識する為、口腔機能などについての学びが必要なので、研修に意欲的に参加しなければならない。◦実際のケアでは、拒否される方もおられるので、ユマニチュード研修を生かした支援を心がけた。</p> <p>◦外部の研修に参加できていない職員の調整ができていない。</p> <p>◦外国からの入職者の研修がまだできていない。10月に予定を入れている。外国からの入職者の研修への参加を促したが、入職して間もないこともあり、本人からの希望・日本での生活と現場に慣れることが、先決のように感じた。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外部研修に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9 月 17日 (9:30 ~11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 介護支援専門員1名、介護職員11名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員12人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	2人		12人

前回の改善計画

- ・排泄介助時の言葉かけの仕方や声の大きさや申し送り時の声の大きさに注意する。
- ・スタッフ会で「ケアについての気付き」の議題の時に対応で良い点、改める点を振り返る。

前回の改善計画に対する取組み結果

排泄介助時のプライバシーが、配慮できていない時が時々ある。ケアの気付きに関してはできている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5人	7人			12人
②	虐待は行われていない	6人	5人	1人		12人
③	プライバシーが守られている	5人	6人	1人		12人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	6人	2人		12人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	8人			12人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束・虐待の定期的な委員会を開き、職員への周知を図っている。事例検討も全職員から意見を出し合い委員会後も内容を周知している。
- ・排泄介助の時など他の職員の対応が不適切な時は、その場で注意や改善を促すようにしている。スタッフ会で再度、ケアの見直して周知を図っている。
- ・声掛けなどできている。
- ・車椅子での移動では、希望に添えるような動きをして頂いていて、介助の場合でも、事前の声掛けを心がけている。
- ・プライバシーを守る意識で、トイレ内での声掛けの仕方や、声の大きさなどには、配慮をしている。
- ・利用者の方に対して虐待にあたるような対応は、行っていない。(適切な介助・透明性のある介助を心がけている)
- ・スタッフ会での「ケアについての気付き」で、良い点・改善点を振り返り、自分の行動にも置き換えて介助にあたっている。
- ・利用者の方が、過ごしやすい環境作りとして、ご本人の生活における行動を制限なく過ごしてもらえるように配慮している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・ご本人のプライバシーに関するトイレ内の声掛け・食事中にふさわしくない排便報告・申し送り情報をその場に配慮できていない声の大きさを伝えてしまっている・話声中でも特に電話の声などがあげられる。利用者の方に対しての声掛けは、耳が遠く聞こえにくいこともあり、ついつい声が大きくなってしまいが、職員への報告については、配慮する意識が不足している。</p> <p>報告している時も、周りに利用者の方が、おられるという意識が不足している。</p> <p>・ケアをしていて、気付くことは、あっても申し送りに記入ができていないので、全職員に伝えられていない。</p> <p>・利用者の方の呼びかけに、他の業務を優先させていて、すぐ対応できていなかったり、焦ってしまうと余裕がなく、場面場面でのふさわしい声掛けができていないことも多い。</p> <p>・スタッフ会でのケアの気付きの意見が少ない。日々の出来事の中で、その都度気付きはあっても、報告できていないと次に生かされない。そういった気付きは、ヒヤリハットにも繋がり、事故を未然に防ぐことにも繋がっていくと考えてられる。</p> <p>・夜勤中、泊まり部屋の扉を開けたまま、オムツ交換をしている。夜間帯、他の利用者の方に変化はないか、転倒等ないか、気配を感じていたい為、扉を開けての対応になってしまっている。</p> <p>・事業所のお薬カレンダーの下の段に現在使用していない塗布薬が置かれたままになっていた。整理整頓ができていない・視点が向いていないことが考えられる。・トイレ誘導に関しては、繊細な配慮が必要とされるので、拒否された場合には、職員間で交代して対応する事も理解できていても、速やかな対応ができていないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>排泄介助の時に、言葉かけの声が大きい場合、職員間でさりげなく気付いてもらうように伝える。</p>	